

## (事業所向け) 児童発達支援事業所における自己評価表

公表：平成31年3月1日

事業所名 COMPASS発達支援センター しまんと

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令に基づいた十分なスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切である	○		現在、児発管1名、保育士4名、児童指導員1名指導員2名が在籍しており、配置基準による適正な配置を行っています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		事業所は2階にありますが、階段には手すりを設置し、上り下りしやすいよう配慮しています。また、利用児童が上り下りする時には、必ず職員と一緒に行動しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の業務終了後には丁寧な掃除を行い、アルコール消毒等、常に清潔を心がけ、また利用児童が活動をしやすいようレイアウトされています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		半年に一回は、業務改善の会議を行っています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	今回の評価表を基に改善につなげていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在、第三者による外部評価を行なっていませんが、今後第三者を設置、評価を受けていきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修会等を行い、資質の向上に繋げています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを行い、保護者のニーズ、利用児童の実態を踏まえ、計画の作成を行っています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントツールにより、利用児童の行動状況を把握し、療育に繋げています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインを基に具体的な支援内容を考え、設定しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援会議等で計画書の内容の把握を行い、個々の計画に沿った支援を全員で話し合っています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別支援会議等では全員でプログラムの内容を話し、確認を行っています。
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎日、引継ぎ等で前日の療育内容を話し、次はどうかやって支援していくかの話し合いを行っています。	

適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		利用児童に応じて個別活動や集団活動を組み、計画の作成を行っています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		児童の利用前には、必ず前日の様子や、当日の活動内容を話し合っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後は送迎等があり、打ち合わせが難しいので、翌日に前日の振り返りを行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援内容を記録し、主に児童発達支援管理責任者、管理者が確認し、改善を行っています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議等は、必ず児童発達支援管理責任者が出席しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保育園等と情報交換し、共有しています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		現在該当者はいませんが、今後、医療的ケアの必要な児童が利用する場合、関係機関と連携し、支援を行っていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		現在該当者はいませんが、今後、医療的ケアの必要な児童が利用する場合、連絡体制を整えていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保育園から小学校等へ移行する場合は、相談支援員を含めた関係者との話し合いに参加し、情報交換を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		担当者会議、ケース会議等で情報共有を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		担当者会議等で相談支援員を通して情報共有や助言を受けています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		保育所や幼稚園に通い、交流を図っている児童もいますが、今後の活動も検討しています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会に管理者が参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		モニタリング時や送迎時に保護者様とお話し、共通理解を持っています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者様からの悩み、相談等を一緒に考え、支援を行っています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧な説明を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画の説明は必ず行い、保護者様の同意を得ています。

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様からのお悩み等の相談は丁寧にかが、助言・支援を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	ご家庭によっては通所を秘密にしておきたい場合もあるので、その点は十分に配慮した上で、今後、保護者会や懇親会など検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった場合は、直ぐに全職員で話し合い、迅速に対応しています。また苦情受付の窓口や、意見箱の設置も行っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログや送迎時に活動内容などの情報を発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		書類は鍵付きの書庫で保管し、取扱いに十分に注意しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		利用児童や保護者様の情報を全職員に周知し、情報伝達の配慮をしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	ご家庭によっては通所を秘密にしておきたい場合もあるため、今までは積極にご案内はしていませんでした。今後は地域の方も参加しやすい餅つき大会などの企画を検討しています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを準備し、ファイルを作成し、また室内に掲示してあります。緊急時などの避難訓練についても定期的に行っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		非常災害時の訓練を定期的に行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		服薬やてんかん発作などの情報は、必ずアセスメント時に確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーがある利用児童に関しては、医師の指示書の提出をお願いし、情報の把握に努めています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書を作成し、全職員で情報共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止に関する研修会を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護する為にやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者の同意を得るようにしています。